

# 西阿知だより

平成29年3月 第12号  
発行  
西阿知学区地域活動促進協議会  
西阿知地区社会福祉協議会  
発行責任者 難波正一

## 地域防災万全の備えを

### 昭和南海地震70年

マグニチュード8を記録した昭和南海地震から70年を迎えた。県内でも震度6の揺れにより200人以上が死傷し、約5500戸の家屋が損壊するなど南部を中心に甚大な被害をもたらした。長い時を経て人々の記憶も薄れている。だが、同様な大きな被害が想定される南海トラフ巨大地震の発生が懸念される中、当時を知る人々の証言などから地域の防災について考える。

午前4時過ぎ、突然「ドーン」と床全体を突き上げるような衝撃で目が覚めた。真っ暗な室内で「四つんばいにもなれないほど激しい縦揺れだった。うつぶせで、腕の力だけで屋外へ這い出した」そこには驚きの光景が広がっていた。地面は波のようになり、周囲の民家は「バキバキ」と音を立てて倒壊していく。夜明けになり、近くの田んぼに目をやると、200呎にもわたって亀裂が入っていた。さらに地面から15呎ほどせり上がった直径2〜3呎の小山がいくつも出来ていた。青みがかった土砂が地中から噴き出したもの

だ。液状化現象である。現在70歳後半の方は記憶にあるのではないだろうか？昭和21年12月21日午前4時19分、和歌山県潮岬沖で発生したマグニチュード8の地震です。西日本で死者・行方不明者約1440人、負傷者約3800人、家屋の全半壊4万戸の被害が出ました。岡山県でも県南を中心に震度6を記録した。

近い将来に発生が懸念される南海巨大地震に対し、私たちはどのような備えたら良いのか真剣に考える必要があるのではないのでしょうか。

又、明治25年に、倉敷を襲った水害、当時の水没地点を記した場所が大平山の麓の連島の民家にあります。平地で約3呎位の水が襲ったようです。1階部分は全部潰れたと思われま。

自主防災組織がまだ立ち上がっていない地域は早めの組織づくりが必要ではないかと思えます。

どのような災害が起きるかは分かりませんが、防災組織が出来ていても災害を防ぐ事はできません。しかし、被害を少しでも軽減する事が出来るのではないのでしょうか。

西阿知地区を災害に強い地域にしていきますか。



川柳  
梅を見ただけで動いた喉仏  
一筆の添え書き嬉しい年賀状  
散髪でどこを切ったか聞く女房  
こうじの香仲間と共に作る味噌  
輝いたあの日を辿る梅の花  
急いでと言われこれでも走ってる  
うれしい日鏡の顔も笑ってる  
妻旅行仕事指示する置手紙  
散るを知る花の心に迷い無し  
散り際はピンピンコロリ潔く  
美女同士向き合い火花散る瞳  
訪れた嫌な客には茶も出さず  
ティーサロン昔話で若返り  
イキイキとサロンで笑顔脳トレす  
高齢も青春切符持ち歩く  
書斎にも客間にもなる台所  
(ふれあい会員)

## 環境衛生視察研修



### 圧倒100億円のソーラーパネル

とっとり自然環境館に視察に行ってきました。「とっとり自然環境館」は鳥取県の豊かな自然、自然を生かした自然エネルギー活用の努力、地域の自然保護活動を紹介しています。鳥取米子ソーラーパークゾーンでは、全国最大級の太陽光発電施設を紹介しています。53haの広大な敷地に約43MWの規模のソーラーパネルが敷き詰められていました。総工事費100億円、年間売電収入約19億円、20年で300億円以上になります。借地料・維持管理費を除いても莫大な収入です。ソフトバンクが作りしました。敷地内の雑草の処理に地元業者にも委託していますが、

羊や山羊にも手伝わしています。ヤギは高いところに飛び乗る習性があるため、事務所周りだけだそうです。羊は4匹で自由にさせているそうです。1匹だけGPSを着けています。4匹はいつも行動を共にするようです。小屋はソーラーパネルの下で好きなところで休んでいます。

中核施設では、鳥取県の豊かな自然の魅力をもつ220枚以上の写真で紹介、「とっとり次世代エネルギーパーク」計画を含む自然エネルギー推進の取り組みの紹介。



鳥取には風力発電設備が沢山あります。民家からの距離に制限があり、どこにでも設置できないために海岸近くなどに多く作られています。ゆっくり回っているように見えますが、近くに行くときすごい音がしています。又、鳥取県の地域で行われている企業や団体の自然保護活動の紹介など。

施設の床面は、鳥取県西部を中心とした空撮写真になってるので、空から鳥取県を眺める事ができます。



## 子供は地域の宝

### 地域ぐるみで親子の見守り

平成27年5月に西阿知学区「地域子育て応援会議」がスタートしました。この会議の目的は子育て世代の方には「西阿知で子育てしてよかったな・・・」地域の方には「子育てするなら西阿知で・・・」と思ってもらえる地域作りを行っていく事です。

最初は西阿知学区の子育てを支えている委員・団体がまず顔の見えるように・・・穏やかなネットワークづくりから。その中で、西阿知の地域資源にはこんなものもあるよ・・・や、最近の親子ってこんな親子が多いな・・・こんな事に不便を感じている・・・等など様々な視点から意見を出し合って進めています。

子育ての事だけでなく地域を見直し、改めて西阿知の良さを再認識するきっかけにもなっています。



## 「くらしきまち歩き」と歩きマップ」が完成し、プレウォーキング大会を開催



平成28年11月12日「マップ」の完成と西阿知学区ミニ健康展の行事の一環として西阿知町新田の「自然満喫コース」を愛育委員、地域子育て応援会議メンバーと地区社協、地域の皆さんなど40人が参加してプレウォーキング大会を開催しました。

「くらしきまち歩き」と歩きマップ」は平成21年から倉敷市保健所が「健康くらしき21計画」の運動分野に重点を置き、だれでもいつでも手軽にできるウォー



キングに着目し、ウォーキングを通じて健康づくりと地域づくりにつながることを目的に愛育委員を中心に作成した手作りマップです。

ところが、西阿知学区愛育委員会では諸事情により作成途中で中断していました。

平成27年度に倉敷地区19学区のなかで唯一マップがない学区となり保健所から作成を強く依頼されていました。この度、西阿知学区地域子育て応援会議の協力により平成28年6月に念願のマップが完成しました。

## 西阿知剣道スポーツ少年団



西阿知剣道スポーツ少年団は、昭和49年設立され現在、42年続いている歴史のあるスポーツ少年団です。スポーツ少年団とは、地域を基盤にスポーツの場を提供する事により、子ども達を健全に育成しようと全国に結成されている組織の事です。

我々の活動場所は西阿知小学校です。毎週水・土曜日の19時〜20時と限られた時間で稽古をしています。現在団員は小学生10人・中学生3人です。指導者5人と、ご父兄がサポートし稽古をします。団員には西阿知小学校以外に中島小学校の子どももいます。指導者は地元の方や団員の親族で、皆さんボランティアで指導しています。その中には、6段の腕前を持つ剣の達人もいます。

剣道は日本発祥の武道です。オリンピック種目になってはいないし、プロリーグがあるわけでもありません。しかし、世界中に愛好者がいる大変魅力的な武道の1つです。

では剣道の魅力は・・・？  
なんとと言っても礼儀作法が身に付く事です。剣道は「礼に始まり礼に終わる」実はこれ、何処に行っても通じる教訓なのです。もともと日本は「礼儀」を重んじる国、最初に礼儀正しい挨拶をするだけで第一印象はとても良くなります。団員は、いつも小学校に来ると入口で履物を揃えます。他人の履物が乱れていたなら、何も言わずに揃えてあげます。体育館に入る前と出る時は、必ず正面に対し一礼します。稽古が始まる前・後は体育館の床をモップがけします。稽古前には参加する全員が正座して正面・先生、そしてお互いに礼をします。稽古中も剣を交える剣士に尊敬の念をもって礼をします。日常生活においても相手を尊重し自分に謙虚になります。



このように剣道を通し身に付けた「礼儀」は学校、社会で生活する上で大変重要になります。

日本の武道にちょっと触れてみたいと思われている方もいるでしょう？しかし、始めたいけど・・・とよく言われるのが「竹刀とか

道具などいろいろ揃えなくてはいけないのに高そう」「続けられるか分からないのに一式揃えるのは・・・」などよく耳にします。安心してください。竹刀と防具の貸出しを行っていますので西阿知スポーツ少年団にまず見学に来て見て下さい。

一見動きの激しい剣道だから、大人になってからでは無理ではと諦めているお父さん・お母さんも大丈夫です。70歳・80歳でも現役で活躍されている先生もおられ、老若男女みんなが楽しめるスポーツです。是非、お子さんと一緒に始めてみてはどうでしょうか。

意外に知られていない事が多い剣道、敬遠してしまう前に一度その世界を自身の目で確かめてください。想像もしなかった発見や思いもよらない出会いがあなたを待っているかも知れません。

### 団員のインタビューです



剣道を始めたきっかけは？  
お母さんが武道に興味があったから、僕も面を付けた姿がかっこいいなと憧れもありました。

剣道をやって良かったこと  
やっぱり礼儀作法が身に付きました。又、何事にもくじけない忍耐力も付きました。



9月19日敬老の日に西阿知小学校体育館において、地域の方々を招いて敬老の集いが行われました。  
台風が近づいており、心配していましたが、雨も降らず曇り空の割には涼しい日に恵まれました。終りのころに小雨になりましたが恵まれた日でした。



第一中学校の吹奏楽に始まり、遍照保育園の園児たちの歌、小学生による歌に、ソーラン節の踊り、そして手作りの首飾りが来場者全員にプレゼントされました。

その後、すみれ会による「西阿知音頭」、日本舞踊、尺八の音に合わせた歌、歌謡手話、コール・タンポポによるコーラス。そして最後は神楽により締められました。神楽では福の種が全員に配られました。  
プログラムの変更や持ち時間等で、役員の方々は大変奮闘されていました。

すみれ会も発足時には、比較的若い方々で構成されていましたが、二十六年も経つと皆さんの平均年齢も上がり体力的にも負担が大きいと思います。是非若い方が入会されて平均年齢が下がる事を祈っています。

主催 西阿知学区ボランティアすみれ会  
後援 西阿知学区地域活動促進協議会  
西阿知地区社会福祉協議会



あることを説明したところ「子育てだけでなく地域のみんなが使えるマップを作れたら最高」との賛同を得て、作成再開となりました。

企画・現地視察・校正を重ね、マップには西阿知学区の特色がしっかり織り込まれ赤ちゃんから高齢者までが利用できる3つのウォーキングコースを作ることができました。

(西阿知学区愛育委員 長谷川 真弓)  
学区内にも新しい住宅がたくさん出ています、地域の皆様とふれあいの場がいっぱいできればありがたいと思います。  
連絡や相談は、遍照子育て支援センター、各地区の愛育委員、民生児童委員、地区社協などにお問い合わせ下さい。



会議という名前はついていますが、堅苦しいものではなくて出席できる人が出席できる時に・・・できる事のできる範囲という形で進めています。これからも細く長く続けていく予定ですので、興味のある方はぜひ一緒に参加してください。  
このような取り組みから、妊婦さんや子育て親子への挨拶や声掛けなど少しでも関心を持って頂けたら、「地域ぐるみで親子を見守り、子育てできる西阿知」になるのでは・・・と思っています。今後もよろしくお願います。  
(遍照地域子育て支援センター 白神万里子)



マップは平成29年3月に正式に配布されました。地域の皆様には是非活用していただき健康(運動習慣)づくりと西阿知の町の再発見にチャレンジしていただきます。



(マップ作成の裏話)  
西阿知学区地域子育て応援会議は、平成27年5月から西阿知町内で子育て支援に取り組んでいる遍照子育て支援センター、愛育委員、民生委員児童委員、すみれ会のメンバーが参加し、安心して子育てができる地域づくりのために情報交換を行っています。

最初の取り組みは遍照子育て支援センターを利用してはお母さん方の「西阿知の町がよくわからない?」「病院はどこにあるの?」「親子で遊べる公園はあるの?」などの悩みの声に応援会議として「悩みをなんとかしてあげたい」との思いから子育て応援マップを作成しました。  
その作成の中で、愛育委員の「くらしきまち歩き さと歩きマップ」が作成途中で



## ミニミニころの健康づくり講座開催



精神障害に対する偏見除去や心の健康づくりの推進を目指して、平成29年1月26日

(木) 倉敷仁風ホスピタル研修室で地域の方々の参加を頂き、精神障がい者の家族の方からの講演と交流会を行いました。他にも、心ほっとサポーターの活動や倉敷仁風ホスピタルについても紹介をしました。

倉敷の西エリアで活動しているすみれ組(老松・中島・中州・西阿知4学区の心ほっとサポーターのチーム)が一丸となって今回の講座の企画・運営を行いました。学区単独の活動とは違いサポーター同士の交流を深めることができ、次の活動のステップアップにつなげる事ができました。

この度の講座は「地域の方知って欲しい心の病気」家族の立場から」と題して障害をもった家族の方から地域で生活する上で「地域の方にどのようなように接して欲しいか」について家族会の2人にお聞きしました。

お話の中には、障害を発生した頃の様子や、病名を告げられた家族と本人が病気を受け入れるまでの思いや葛藤、そして支えることの大変さ等について聞くことができました。地域の方に「特別な人」ではなく「みんなと同じ」との思いで接して欲しいと話されました。

また、家族会の方々と交えての交流会では民生委員や地区社協としての接し方などたくさん質問にも答えていただきました。

今回の講座に参加いただきました西阿知学区の民生委員・愛育委員・ボランティアすみれ会の皆様お忙しい中ありがとうございました。地域のみなさまの力で誰でも安心して生活できる地域づくりに今後ともご理解とご協力をよろしくお願ひします。

(西阿知学区  
心ほっとサポーター  
安東・渡辺・長谷川)



## 友愛訪問

### 高齢者宅に寿司四百食を

西阿知学区にお住まいの高齢者宅で七十歳以上の1人暮らしの方、または、八十歳以上の御夫婦お二人で暮らしておられるお宅に一月二十九日(日)に、すみれ会の会員が、ちらし寿司を作り、バナナやみかん、飴などを添えて民生委員、愛育委員の方にも手伝い頂き一人ひとり手渡しでお配りしました。当日の一週間、十日位前に安否確認と当日の在宅確認に手作りの絵手紙を持って伺いました。



## 西原文化祭

### すみれ会地域ふれあい交流会

平成28年3月6日西阿知憩いの家にて、西原公民館、和老会、すみれ会の共催で開催されました。

10回目となる節目の開催でしたが、参加者の皆さん、そして役員の方々のアドバイスを頂きながら少しずつ創意工夫を重ね、現在ではまずまずの評価を頂いていることに少しだけ達成感を味わった一日でした。

開催にあたりましては、多くの子供達の参加を頂きました。硬筆及び毛筆習字教室の先生には限られたスペースに気を配って頂きながらの出演にご協力厚くお礼申し上げます。

これからも地域の子どもからお年寄りまでの、ふれあい交流と言う趣旨のもと、多くの人の参加をお待ちしています。

文化祭実行委員は、和老会、公民館とも年齢的な要素もあり、交代しながらの10年でありましたが、すみれ会のメンバーは10年間ほとんど交替もなくウーマンパワーの健在ぶりを見せつけられた10年でもありました。

いつもながら、無料うどんコーナーは大盛況で待ち時間ができるほどでした。1時間半くらいで400食余りを提供できる連係プレイには関心させられます。うどんと一緒に下さったおにぎり、漬物も美味しかったです。

の日のために何日も前から仕込んでこられたベテランの味に感謝です。

又、イベントのコーナーでは、今年初めて参加されました琴の演奏も狭い舞台上9人も演奏者による和楽に暫し聞き入った一時でした。

趣味のコーナーでは一年間この日のため頑張った作品が多く展示され目を楽しませていただきました。有難うございました。

写真のコーナーでは自然の美しい風景、イベント、子供といったジャンルも大いに結構ですが、昔の懐かしい、今のお年寄りが見て自分の子供時代、青春時代を思い起こさせる様な写真があれば是非参加して下さい。その写真を見て若かりし頃を思い出し、話に花が咲けばこれまた意義有かなと思っております。

これからも、すみれ会のウーマンパワーと、和老会、公民館のメンバーに鞭打ちながら文化祭の発展に尽力してまいります。と思っております。

(投稿者 岡野伸英)

